

スクールバス管理運行業務委託仕様書（案）

この仕様書は、沖縄県立大平特別支援学校が委託するスクールバス管理運行業務についての概要を定めるものである。

受託者は、この仕様書に記載されていない事項についても、状況に応じ誠意をもって業務を履行しなければならない。

1 受託業務車両

受託者は、スクールバスの管理運行業務（以下「管理運行業務」という。）を受託履行するため、下記に定める学校（沖縄県）所有の車両を管理・運行するものとする。

車両登録番号 主な運行区間登 下校時の 運行距離 運行時間	エンジン 種別 総排気量	車種 車名 車両型式	年式 累計走行距離
沖縄 200 は 303 A コース 19km 1 時間 40 分	リヤールエンジン 排気量 7,790 ℓ	日野 ブルーボン II QPG-KV234N3	平成 29 年 8 月登録 令和 8 年 3 月 1 日時点の 累計走行距離 67,622km
沖縄 200 は 177 B コース 19km 1 時間 40 分	リヤールエンジン 排気量 9,200 ℓ	ニッサン スペースランナー PDG-RA273MAN	平成 21 年 3 月登録 令和 8 年 3 月 1 日時点の 累計走行距離 159,553km
沖縄 200 は 284 C コース 19km 1 時間 40 分	リヤールエンジン 排気量 7,790 ℓ	日野 ブルーボン II QPG-KV234N3	平成 28 年 6 月登録 令和 8 年 3 月 1 日時点の 累計走行距離 75,213km
沖縄 200 は 327 D コース 22km 1 時間 45 分	リヤールエンジン排 気量 5,193 ℓ	いすゞ エルガ LV290N3AA7J4W	令和元年 12 月登録 令和 8 年 3 月 1 日時点の 累計走行距離 40,254km

2 管理運行業務の内容

受託者が履行する管理運行業務の内容は、次のとおりとする。

- （1）管理自動車の運行計画の調整・助言（基本計画は学校が作成する）

- (2) 管理自動車の運転（燃料給油、臨時便運行、校外学習、法定点検時等の運転も含む）
- (3) 燃料（油脂）等の給油及び購入（尿素（アドブルー）を含む）
- (4) バッテリー、タイヤ（スペアタイヤ含む）の交換及び購入
- (5) 車載備品・消耗品の補充交換・保管管理
- (6) 車両管理業務（管理車両の保清・整備・修理、始業終業点検、車検、法定点検、春・夏・冬休み等長期休業中のエンジン始動等）
- (7) 運行日誌、運行実績報告書等の報告
- (8) 事故等に対する処理及び補償に関する一連業務
- (9) 昇降時のリフト操作（該当車両のみ）
- (10) 緊急時、雨天時等の介助補助業務
- (11) 故障等によりスクールバスが使用できない場合の代替車の措置
- (12) その他、前各号に付帯する事項

3 経費の負担区分

（１）委託者（学校）が負担する経費は次のとおりとする。

- ①自動車検査手数料（整備・修繕に係る費用は除く）
- ②自動車損害賠償責任保険料
- ③重量税
- ④車椅子固定用ベルト
- ⑤救急用品等の常備品購入費
- ⑥介助員の業務連絡用電話料

（２）受託者が負担する経費が次のとおりとする。

- ①任意保険料
- ②車両一般整備・修理費（ラジエータ、タイヤ、バッテリー等の一切）
- ③法定定期点検整備費（法定３月定期点検、法定１２月定期点検）
- ④燃料費（尿素（アドブルー）を含む）
- ⑤運転士の人件費・健康診断費・被服費・マスク、代務管理者の人件費
- ⑥事務手続きの代行費
- ⑦運転士用の携帯電話の装備費及び通信費
- ⑧一般管理費
- ⑨受託者の責めに帰すべき理由により発生した事故等に係る損害補償の全て

4 契約方法

管理運行業務の委託に係る契約方法については、前記3の経費及び運行時間、運行距離に基づいて定めた年間委託料による契約とする。

5 運行区間・乗車人員・停留所等

(1) 運行区間、乗車人員、停留所等は、別に定める「大平特別支援学校スクールバス運行計画」及び「運行経路図」によるものとし、その細部については、学校と協議するものとする。

(2) 学校行事等に係る運行については、委託者が作成した別途「(行事名)実施計画」に基づき、受託者は誠実に対応する。

6 運転士の確保

受託者は、前記2の管理運行業務を履行するため、業務に適任の運転士を措置しなければならない。また運転士については、管理運行する車両を専任特定するよう努めなければならない。

7 服務規律

受託者は、細心の注意をもって管理運行業務にあたり、児童生徒に対しては、教育の場にふさわしい態度で対応しなければならない。

8 試走及び研修会への参加

(1) 受託者は運行に携わる際に、学校が指定する日時において、運行コースを試走する。

(2) 運転士に対して安全運行や緊急時の対応、特別支援学校の児童生徒の特性や配慮事項等の理解のため、学校が開く研修会に参加するものとする。

9 車両運行の際の留意事項

受託者は、幼児児童生徒が乗車又は下車した後のスクールバスの発車の時期など、車両を運行する際に必要な事項については、添乗する学校職員と協議のうえ適切に対応するものとする。

10 車両の管理・保管場所

(1) 受託者は、日常の車両点検(始業終業点検等)・整備・清掃を確実に行わなければならない。また車両の保管場所及び保管方法は、学校長の指示によるものとする。

(2) 夏休み、冬休み、春休み、ゴールデンウィークなど長期休業中は、4日に1度、スクールバスの始動点検を行う。

11 事故発生時の処置及び事故処理

受託者は、運行中に交通事故その他の緊急事態が発生したときは、直ちに適切な措置を講じるとともに、学校長及び関係者に状況の報告をしなければならない。

12 業務報告

受託者は、次の書類を学校長に提出するものとする。

- ① 運行管理責任者及び運行管理者（運転士）報告書（様式任意）運行開始日前に提出
- ②自動車等運行管理簿・・・日々の業務終了後に提出
- ③運行前点検簿・・・日々の業務終了後に提出
- ④車両管理運行実績報告書・・・受託業務実施月の翌月に提出

13 任意保険

受託者は、受託する車両について下記の内容を含む自動車保険（任意保険）に加入し、その写しを学校長に提出しなければならない。なお下記内容以外にも受託者の判断により車両保険等を追加できるものとする。

《任意保険加入条件・保険保障金額》

対人賠償	対物賠償	搭乗者傷害	無保険車傷害補償
無制限	無制限	死亡時 1,000 万円以上	2 億円以上